

成年後見 選挙権喪失は「違憲」

「堂々と社会参加を」

裁判長 語りかけ



勝訴の喜劇の前で笑顔を見せる左から(歴)の名児耶匠さん、母佳子さん、父清吉さん。東京都千代田区の高橋地裁前で14日午後1時45分、丸山博撮影

「お父さんとお母さんと選挙に行きたい」。娘の願いが司法に届いた。成年後見人をつける選挙権喪失を争う公職選挙法の規定を違憲と結論付けた14日の東京地裁判決。原告の名児耶匠さん(50)は茨城県牛久市の「つれいし」のオーナーを営み、弁護士は「選挙権の重要性に鑑みて国は控訴を控え、国会は早期に規定を削除してほしい」と強く訴えた。

午後1時半、東京地裁高橋地裁が名児耶匠さんと、傍聴席の支持者約100名を法廷。定ん勝訴の判決を言い渡す。拍手がわき起こる。

「札幌も同じ判断を」原告男性

「国の違やかな対応があった。札幌でも明確に違憲と判断してほしい」と声を弾ませた。各地の原告からは、初め小中学校は特別支援学校に通学。卒業後は塗装工などをしてい月札幌地裁に提訴したが、今は同居する母は、自毛のテレビの速報で勝訴を知り「国を相手に勝つのは難しい」と心配していたが、良くないといいい、04年5月札幌地裁で勝訴した。その9カ月後の参院選で、投票所案内が自宅に届かず、市に問い合わせた。区役所に「3回足を運んだ」と訴え、職員は「法律で決まっている」と一点張り。「自分が法定

■成年後見制度と裁判を巡る動き

- 2011年
- 2月1日 タウン症で知的障害がある茨城県牛久市の名児耶匠さんが東京地裁に提訴
- 4月26日 知的障害がある埼玉県児玉郡の女性がさいたま地裁に提訴
- 6月14日 知的障害がある京都市の男性が京都地裁に提訴
- 9月14日 生まれつき知的能力に遅れがある札幌市の男性が札幌地裁に提訴

定ん勝訴は10分近くかけて判決理由の書き分けがやりやすくなり、最後に名児耶匠さんにほほえみかけ、こう語りかけた。「名児耶匠さん、どうも選挙権を行使して社会に参加していただき。堂々

「胸を張っていい人生を生きてください」と語り、閉廷後、名児耶匠さんは両親や弁護士と東京・霞が関の司法記者クラブで記者会見した。晴れ晴れとした表情で「選挙に行けるようになりました」と語り、「お父さんとお母さんといっしょに選挙に行きたいと思いませんか」と問われると、「思います」と力を込めた。

「我が意を得た内容だ。予想以上にしっかりとおり、近來の名児耶匠さん、どうも選挙権を行使して社会に参加していただき。堂々とした人生を生きてください」と語り、閉廷後、名児耶匠さんは両親や弁護士と東京・霞が関の司法記者クラブで記者会見した。晴れ晴れとした表情で「選挙に行けるようになりました」と語り、「お父さんとお母さんといっしょに選挙に行きたいと思いませんか」と問われると、「思います」と力を込めた。

「我が意を得た内容だ。予想以上にしっかりとおり、近來の名児耶匠さん、どうも選挙権を行使して社会に参加していただき。堂々とした人生を生きてください」と語り、閉廷後、名児耶匠さんは両親や弁護士と東京・霞が関の司法記者クラブで記者会見した。晴れ晴れとした表情で「選挙に行けるようになりました」と語り、「お父さんとお母さんといっしょに選挙に行きたいと思いませんか」と問われると、「思います」と力を込めた。

「我が意を得た内容だ。予想以上にしっかりとおり、近來の名児耶匠さん、どうも選挙権を行使して社会に参加していただき。堂々とした人生を生きてください」と語り、閉廷後、名児耶匠さんは両親や弁護士と東京・霞が関の司法記者クラブで記者会見した。晴れ晴れとした表情で「選挙に行けるようになりました」と語り、「お父さんとお母さんといっしょに選挙に行きたいと思いませんか」と問われると、「思います」と力を込めた。

「我が意を得た内容だ。予想以上にしっかりとおり、近來の名児耶匠さん、どうも選挙権を行使して社会に参加していただき。堂々とした人生を生きてください」と語り、閉廷後、名児耶匠さんは両親や弁護士と東京・霞が関の司法記者クラブで記者会見した。晴れ晴れとした表情で「選挙に行けるようになりました」と語り、「お父さんとお母さんといっしょに選挙に行きたいと思いませんか」と問われると、「思います」と力を込めた。

「我が意を得た内容だ。予想以上にしっかりとおり、近來の名児耶匠さん、どうも選挙権を行使して社会に参加していただき。堂々とした人生を生きてください」と語り、閉廷後、名児耶匠さんは両親や弁護士と東京・霞が関の司法記者クラブで記者会見した。晴れ晴れとした表情で「選挙に行けるようになりました」と語り、「お父さんとお母さんといっしょに選挙に行きたいと思いませんか」と問われると、「思います」と力を込めた。

「我が意を得た内容だ。予想以上にしっかりとおり、近來の名児耶匠さん、どうも選挙権を行使して社会に参加していただき。堂々とした人生を生きてください」と語り、閉廷後、名児耶匠さんは両親や弁護士と東京・霞が関の司法記者クラブで記者会見した。晴れ晴れとした表情で「選挙に行けるようになりました」と語り、「お父さんとお母さんといっしょに選挙に行きたいと思いませんか」と問われると、「思います」と力を込めた。

「我が意を得た内容だ。予想以上にしっかりとおり、近來の名児耶匠さん、どうも選挙権を行使して社会に参加していただき。堂々とした人生を生きてください」と語り、閉廷後、名児耶匠さんは両親や弁護士と東京・霞が関の司法記者クラブで記者会見した。晴れ晴れとした表情で「選挙に行けるようになりました」と語り、「お父さんとお母さんといっしょに選挙に行きたいと思いませんか」と問われると、「思います」と力を込めた。

「我が意を得た内容だ。予想以上にしっかりとおり、近來の名児耶匠さん、どうも選挙権を行使して社会に参加していただき。堂々とした人生を生きてください」と語り、閉廷後、名児耶匠さんは両親や弁護士と東京・霞が関の司法記者クラブで記者会見した。晴れ晴れとした表情で「選挙に行けるようになりました」と語り、「お父さんとお母さんといっしょに選挙に行きたいと思いませんか」と問われると、「思います」と力を込めた。

「我が意を得た内容だ。予想以上にしっかりとおり、近來の名児耶匠さん、どうも選挙権を行使して社会に参加していただき。堂々とした人生を生きてください」と語り、閉廷後、名児耶匠さんは両親や弁護士と東京・霞が関の司法記者クラブで記者会見した。晴れ晴れとした表情で「選挙に行けるようになりました」と語り、「お父さんとお母さんといっしょに選挙に行きたいと思いませんか」と問われると、「思います」と力を込めた。

記者会見する西村国典(左から2人目)ら弁護士(左から2人目)ら弁護士(左から2人目)ら



「成年後見制度」の利用で選挙権を失った公職選挙法に規定は選挙の取用しても選挙権が認められる。成年後見制度を利用した選挙権を失った公職選挙法に規定は選挙の取用しても選挙権が認められる。成年後見制度を利用した選挙権を失った公職選挙法に規定は選挙の取用しても選挙権が認められる。

「知的障害者、判断できる」

札幌の弁護団に弾み

成年後見判決

札幌市は14日、記者会見を呼び見聞に勝つが棄しきられた選挙権がなくなり、成年後見制度を利用しても選挙権が認められる。成年後見制度を利用した選挙権を失った公職選挙法に規定は選挙の取用しても選挙権が認められる。成年後見制度を利用した選挙権を失った公職選挙法に規定は選挙の取用しても選挙権が認められる。

札幌市は14日、記者会見を呼び見聞に勝つが棄しきられた選挙権がなくなり、成年後見制度を利用しても選挙権が認められる。成年後見制度を利用した選挙権を失った公職選挙法に規定は選挙の取用しても選挙権が認められる。成年後見制度を利用した選挙権を失った公職選挙法に規定は選挙の取用しても選挙権が認められる。

札幌市は14日、記者会見を呼び見聞に勝つが棄しきられた選挙権がなくなり、成年後見制度を利用しても選挙権が認められる。成年後見制度を利用した選挙権を失った公職選挙法に規定は選挙の取用しても選挙権が認められる。成年後見制度を利用した選挙権を失った公職選挙法に規定は選挙の取用しても選挙権が認められる。

また選挙に行ける

裁判長「社会参加して胸張って」

成年後見判決



勝訴を受けて会見する名児耶匠さん(中央)。左は母親の佳子さん、右は父親の清吉さん(14日午後、東京・霞が関の司法記者クラブ、加藤康雄撮影)

「これまで通り、選挙に行きたい。後見人が付けられたために、選挙権を失ったダウン症の女性の願いが、司法に届いた。公職選挙法の規定を違憲と断じた14日の東京地裁判決。裁判長は女性にどうして、社会に参加して(選挙)と語りかけた。各地で訴えを起す同じ境遇の人たちにも喜びが広がった。▼一面参照

「選挙で投票できる」といふ地位にあることを確認する」。定塚誠裁判長が主文を言い渡すと、傍聴席の支援者から拍手がわき起こった。原告席の名児耶匠さん(50)は背筋を伸ばし、緊張した表情のまま、読み上げが終わると、裁判長はこう語りかけた。名児耶匠さん、どうぞ選挙権を行使して、社会に参加してください。どうぞ胸を張って、いっぴんを生きてください。匠さんの顔に初めて笑みが浮かび、再び拍手が響いた。閉廷後の記者会見で匠さんは「うれしいですね」

「選挙ができる」といふ権利を「選挙できない」といふ権利に奪われた。次の選挙で両親と投票に行きたいと思うかを尋ねられ、「思いません」とはつきり答えた。匠さんは養護学校を卒業

投票できる仕組みを日本成年後見法学会理事長の新井誠・中央大学法学部教授(民法)の話、禁治産制度が廃止され成年後見制度ができたが、選挙権や地方公務員になる権利をはじめ、多くの資格を奪ったままになっている。さうし

「選挙ができる」といふ権利を「選挙できない」といふ権利に奪われた。次の選挙で両親と投票に行きたいと思うかを尋ねられ、「思いません」とはつきり答えた。匠さんは養護学校を卒業

各地の原告喜びの声

各地で訴訟を続ける人からも喜びの声が相次いだ。京都地裁に訴えている知的障害者の男性(59)は弁護団を通じて「うれし。夏には参院選がある。京都地裁も早く判決を出して選挙権を返して下さい」とコメントした。民谷渉弁護士は「成年後見制度の利用者全体に影響を与える大きな意義がある」と評価した。さいたま地裁には、埼玉県神川町の浅見寛子さん(57)が訴えている。地裁後見人の豊子さん(69)が東京

第636回 全国自治宝くじ

グリーンジャンボ宝くじ

本日抽せん!

あなたも今日から、億万長者?

※NHK BSプレミアムにて本日12:35から生中継予定!

抽せん結果は宝くじ公式サイト及び、テレフォンサービスにて、ご確認ください。

宝くじ公式サイト
http://www.takarakuji-official.jp/
テレフォンサービス: 0570-029292

※全国都道府県及び20指定都市

選挙権の保障 重く見た判決

〈解説〉知的障害があっても、選挙権を一律に奪うことは許されない。東京地裁判決は、すべての国民に平等に選挙権を保障した憲法原則を重視し、「極めて例外的な場合にだけ制限できる」と指摘した。後見制度を制限の基準に利用することは以前から批判があった。「差別的だ」とされた禁治産制度が、2000年に成年後見制度に移行した際にも撤廃は検討された。だが結局、選挙権の行使には能力が必要で、統一的な基準で制限したという意見が根強く、「禁錮刑以上の確定者」などと並べられる形で、公職選挙法によって選挙権が制限され続けた。しかし、判決が指摘したように、英国やカナダなど各国で近年、知的障害や精神疾患のある人にも選挙権を認める流れがあり、一律の制限が時代遅れなのは明らかだろう。日本弁護士連合会は8年も前から見直しを求めていた。

一方で判決は、選挙権の行使に「相当の能力」が必要であるという考え方は否定していない。国側が心配する「不正な投票が起きない」ように配慮しつつ、より多くの国民に選挙権を保障するにどうすればよいか。時代に合った議論が求められる。(小椋博郎)

ゆかりの...
三島食品
www.mishima.co.jp